

2022年6月17日

脱炭素社会を支えるパワエレ応用機器の進化に対応した電磁両立性(EMC)試験を実現

最新国際規格・大電力に対応した大型電波暗室の建設開始

一般社団法人 KEC関西電子工業振興センターは、SDGsを牽引する脱炭素社会の核となる、パワーエレクトロニクス応用機器(パワエレ応用機器)の EMC 試験を強化するため、関西文化学術研究都市(けいはんな学研都市)に、最新規格・大電力に対応した大型電波暗室を建設します。2022年6月17日に現地にて地鎮祭を挙行し、2024年春の稼働開始に向け建設を開始しました。この大型電波暗室により、日々、進化するパワエレ応用機器の最新 EMC 国際規格に対応した高品質で高信頼性の試験を提供し、脱炭素エネルギーインフラの拡充に貢献してまいります。

【概要】

近年、地球規模で持続可能な社会を求める風潮が高まる中、脱炭素化に向けたエネルギーインフラの整備が重要な課題となってきました。同時に、電動化技術、自動化技術、無線技術等の発展に伴い、脱炭素エネルギーインフラを支える、国際規格やパワエレ応用機器も日々進化しています。

当センターでは、パワエレ応用機器を含めた、製品・部品の EMC 試験は既に提供していますが、動力源の大出力化、電池の大容量化、無線の高速化などの進化に伴い、大型・大重量の試験品、大電力、周波数拡大への対応などが求められてきています。

当センターは、2基の10m法電波暗室及びリバブレーションチャンバーを含む、全11基の電波暗室と、5基のシールドルームを保有していますが、これらの要望に対応するため、当センターけいはんな拠点の南方350mにある約8,000㎡の土地に、第15電波暗室と、大型・大重量の試験品及び大電力に対応するとともに最新の国際規格にも対応する第16電波暗室の2基の10m法電波暗室を建設します。

この新電波暗室は、国際規格化が進められている『30MHz未満の放射エミッション測定』や工業・科学及び医用機器の国際規格 CISPR11 にて大幅に拡大する試験項目にも対応します。

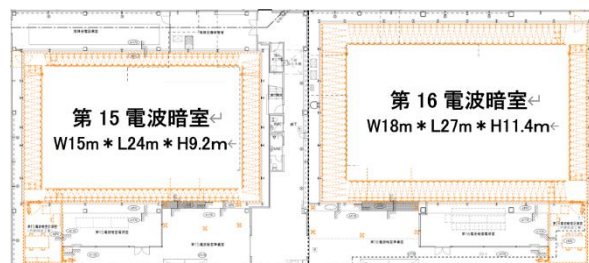
当センターは、各種認定・認証試験を含めた製品・部品の EMC 試験とともに、更に多くの機器の開発にご活用いただけるよう進化・改善に努め、業界の発展に貢献してまいります。

【お問い合わせ先】

KEC関西電子工業振興センター TEL: 0774-93-4563、 e-mail: announce01@kec.jp



新試験棟・新電波暗室 完成イメージ図



新電波暗室 配置図（電波暗室南棟）

項目	第15電波暗室	第16電波暗室
交流電源(最大)	3相72kVA	3相360kVA (100%逆潮流対応)
直流電源(最大)	DC600V, 30A 4系統	DC1500V, 50(100)A (100%逆潮流対応)
回転台寸法	直径5m 耐荷重5トン	直径7m 耐荷重10トン
搬入口	3.0m×3.0m	4.5m×4.5m

新電波暗室の特徴



2022年6月10日

2022 年度 役員体制のお知らせ

一般社団法人 KEC関西電子工業振興センターは、本日開催の通常総会・理事会において、2022 年度役員体制について、以下の通り決定しましたので、お知らせします。

記

2022 年度 一般社団法人 KEC関西電子工業振興センター 役員体制

会 長	小 川 立 夫	パナソニックホールディングス株式会社
副 会 長	海 藤 克 明	株式会社 島 津 製 作 所
〃	古 橋 健 士	ホ シ デ ン 株 式 会 社
〃	岩 坪 浩	株式会社 村 田 製 作 所
専務理事	柳 川 良 文	一般社団法人 KEC 関西電子工業振興センター
常務理事	竹 下 伸 夫	一般社団法人 KEC 関西電子工業振興センター
理 事	吉 村 元	株式会社 三 社 電 機 製 作 所
〃	高 橋 良 典	新 コ ス モ ス 電 機 株 式 会 社
〃	岩 野 功 史	ダイヤモンドエレクトリックホールディングス株式会社
〃	竹 内 一 弘	T O A 株 式 会 社
〃	古 矢 勝 彦	ニ チ コ ン 株 式 会 社
〃	田 中 英 二	日 本 電 音 株 式 会 社
〃	宮 部 義 幸	パナソニックホールディングス株式会社
〃	船 越 秀 明	船 井 電 機 株 式 会 社
〃	石 原 眞 次	古 野 電 気 株 式 会 社
〃	朝 日 宣 雄	三 菱 電 機 株 式 会 社
〃	大 久 保 稔	ヤンマーホールディングス株式会社
		以上17名
監 事	小 路 山 憲 一	ア イ コ ム 株 式 会 社
〃	大 島 敬 二	エ ス ペ ッ ク 株 式 会 社
		以上2名

